

平成 29 年度 第 1 回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成 29 年 8 月 31 日 (木) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分
会場	西公民館 2 階 講座会議室
出席者 (順不同)	上野会長(議長)、梅田副会長、松原委員、笹委員、宮寄委員、宮田委員、大鷲委員、高野委員、園川委員、長谷川委員、小澤委員 11 名 加納(中央)・岡部(東)・星野(西)・坂本(南)・鈴木(北)・大山(下蕨)・井田(旭町)各館長、藤橋係長(生涯学習振興係長)、瀬口係長(中央)、加藤主事(中央、書記) <合計> 21 名
欠席者	中捨委員、山田委員、中村委員、舟山委員
主な添付資料	資料 1、平成 28 年度 第 2 回 公民館運営審議会 会議録(案) 資料 2、平成 29 年度 公民館等 職員人事異動 資料 3、平成 28 年度 公民館 事業一覧 資料 4、平成 28 年度 公民館 利用状況報告 資料 5、平成 29 年度 公民館 事業計画 資料 6、平成 29 年度 蕨市生涯学習活動推進事業
会 議 内 容 (要 旨)	
<p><公民館運営審議会> 午前 10 時 00 分 開会</p> <p>1、開会 ※傍聴希望なし 2、上野会長あいさつ 3、議 事</p> <p>①前回会議録の承認 資料 1 『平成 28 年度 第 2 回 公民館運営審議会 会議録』(案)を承認</p> <p>②報告事項</p> <p>(1) 平成 29 年度 公民館等 人事異動について 資料 2 『平成 29 年度 公民館等 職員人事異動』に基づき事務局から説明。</p> <p>(2) 平成 28 年度 公民館 事業・利用状況 について 資料 3 『平成 28 年度 公民館 事業一覧』、資料 4 『平成 28 年度 公民館 利用状況報告』に基づき各館長から説明。</p> <p>委 員：下蕨公民館で開催した『LGBT の子どもたち』の講演会は、どのようなものだったのか。</p> <p>事務局：LGBT の子どもたちの現状を理解し、地域として何かできることを考えたいという思いから開催した。</p> <p>委 員：旭町公民館で開催した『涙活』はどのような事業か。</p> <p>事務局：参加者に涙をテーマにした詩の朗読、歌の生演奏等を聴いてもらい、涙を流して心と体をリフレッシュしてもらうことを目的として行っている事業である。</p> <p>(3) 平成 29 年度 公民館 事業計画について 資料 5 『平成 29 年度 公民館 事業計画』に基づき各館長から説明。</p>	

- 委員：事業計画の謝礼の項目はどの館も 0 円だが、謝礼というのは講師ではない人に支払うときに使うのか。
- 事務局：講師のアシスタント等に主に図書カード等でお支払いしている。年度当初時点では予定がなかったので 0 円と計上している。
- 委員：西公民館の事業計画の備考欄のように講師謝礼の算出の根拠が、他館のものにも載せられているとわかりやすくしてほしい。表の備考欄を活用してほしい。また、以前、講師謝礼は 7,000 円が上限だと聞いたことがあるが、今もそうなのか。
- 事務局：教育委員会内の金額の取り決めを目安にしつつ、個々の事業ごとに講師とも協議している。高額な謝礼ではないが、講師のご厚意で講座を引き受けていただいているものが多い。
- 委員：事業計画に記載されている、賃金というのはどのようなものか。
- 事務局：託児のある講座の場合、託児を担当している方に支払うものである。
- 委員：事業計画の中の受講者実数がハイフンで表示されている講座があるが、どのような意味か。
- 事務局：申込制ではない事業や定員がない事業は、計画段階では実数が不確定なことから具体的な数値は入れず、かつ、空欄と区別する意味でハイフンで表示している。
- 委員：計画の段階であっても、受講者数を概数でも表示しないと事業の規模などがわかりにくい。
- 事務局：ご指摘の通り概数を入れられるものについては表示し、よりわかりやすい表記を工夫するよう内部で協議したい。
- 委員：合宿通学について、今年度は南町地区のみの実施ということだが、今後はどの地区でも行わないのか。行わない結論に至った経緯を知りたい。
- 事務局：今年の 6～7 月にかけて各地区で合宿通学実行委員会を行い、今年度の開催についてを話し合った結果、南町を除く 4 地区は行わないこととなった。また、南町地区も今年で最後とし、この形の事業は今後行わない。塚越地区の銭湯がなくなったことは見直しのきっかけの一つではあったが、合宿通学立ち上げ当時と現在とでは参加者・保護者の意識や社会環境も変わっており特にここ数年はさまざまな課題も表面化するなかで、大きな事故が起きる前に改めて検討しようということになった。子どもたちが楽しみにしている事業ではあるが、今後は代替事業を考えたい。

4、その他

①平成 29 年度 蕨市生涯学習活動推進事業について

資料 6 『平成 29 年度 蕨市生涯学習活動推進事業』について事務局から説明。

②各委員から

- 委員：前回の生涯学習活動推進事業は実行委員として携わったが、関係者への負担が大きいのと感じた。
- 委員：蕨市民音楽祭を今年度も行うが、今年は蕨市民会館が利用できないこともあり、市内のさまざまな場所で実施する形式で計画されている。今回は塚越での開催はないが今後は開催できるようにしたい。
- 委員：北町公民館を主に利用しているが、北町公民館としては運動系団体が使うのに適した部屋が少ない。そのため今までは併設の北町公民館と市民体育館とで、予約の取れる方を利用していた。ところが、今年の 8 月から市民体育館

が予約システムによる予約になり、機械抽選の結果、月に 1 回しか部屋を予約できないときがあった。他の公民館を借りるという選択肢もあるが、今まで通り自分たちの地域で活動していきたい。難しいお願いだとは思いますが、なにか改善の方法はないものか。

事務局：担当課にも話をして今後の対応を検討していきたい。地域活動が途絶えないように対応を考えたい。

委員：北町コミュニティ委員会で広報を担当している。今月発行した広報紙が 100 号を迎えた。今後も精力的に活動していきたい。

委員：南公民館で活動しているが、幸い毎回部屋が利用できている。どの団体も平等に部屋を利用できることを願っている。また、前回の生涯学習活動推進事業では、自身の所属するサークルの体験コーナーを設けた。南町には河鍋暁斎記念美術館等の素晴らしい芸術作品がある。そのような地元の芸術家を紹介できる場になるといいと思う。

委員：合宿通学の中止は残念だが、時代の流れもあり、大きな事故が起こる前に中止としたことは大変な決断だったと思う。代替事業として、災害時に子どもたちが自分で考え行動できるようになるための「防災キャンプ」等はないか。どんな行動をとったらいいのかを子どもが自分自身で考えられるような事業を希望する。

委員：旭町公民館を利用しているが、どの団体も部屋の予約に苦労しているようだ。また、夏休みに行っている青少年向けの事業はどの公民館も人気があるようでとても意義があると思う。旭町公民館では、施設の開放事業として毎月 1 回「ふりーすぺーす」を実施しているが、そのなかで行っている子どもの料理講座等はとても人気があり、すぐ満員になるようだ。

委員：市民体育館の予約方法の変更は、パソコン等を使い慣れていない人からすると申し込みが難しい。逆に若い世代には利用しやすいのかもしれないが、さまざまな世代が利用しやすい予約方法だとよい。また、合宿通学は事業の立ち上げのときに携わっており、自分の子どもも大学生のときにボランティアとして参加した。当初と現在とでは様子が変わってきたように思う。子どもたちが主体ではなく、大人の手が入りすぎているように感じていた。1泊2日でもいいので、子どもたちが防災について学べる機会があるとよい。

委員：資料 4 の『平成 28 年度 公民館 利用状況報告』と平成 27 年度の報告を比較してみると、公民館全体の利用者数は 13,000 人くらい減っている。また、社会教育関係団体の高齢者対象団体の利用者数は 5,200 くらい減少している。高齢者自体は増えていると思うが、公民館を利用する高齢者は少なくなっているのではないか。この状況を変えるには公民館の講座をもっと増やす努力が必要なのではないか。

委員：市民体育館の予約については、所管する生涯学習スポーツ課とよく協議していくべきだと思う。

委員：以前新聞で見たが、埼玉県は全国的にみても突出して児童虐待件数が多い。蕨も例外ではないと思う。また、学校の夏休み明けは子どもの自殺が多いと言われる。スマートフォン等でのいじめが原因という例が多いらしい。蕨では以前から「アウトメディア」について取り組んできているが、公民館の講座等を企画するときには、こういった直面している課題もテーマにしてほしい。

5、閉会

梅田副会長 あいさつ